

防災を考える その備えが命を守る

自助

自分の命は自分で守る

POINT 1
気象情報・避難情報には
細心の注意を

台風等の気象情報には十分注意をし、早めの避難を心がけましょう。また、避難情報も注意し、的確な避難行動をとりましょう。

※避難に時間のかかる高齢者や障害のある方は、「警戒レベル3 高齢者等避難」で、危険な場所から避難しましょう。高齢者以外の方も必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしましょう。危険を感じたら自主避難をするタイミングです。また、「警戒レベル4 避難指示」が出たら、危険な場所から全員避難しましょう。

※新たな防災気象情報では、避難情報が5段階の警戒レベル（上表のとおり）に変わりました。詳しくは、「気象庁ホームページ」をご覧ください。

※避難情報は、災害種別と対象地区を指定して発令されます。冷静な判



↑気象庁ホームページはこちら

避難情報が5段階の警戒レベルに変わりました！

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮 特別警報	命の危険 直ちに安全確保!

〈警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難!〉

警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮 危険警報	危険な場所から 全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する 人は早めに避難、 避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ル ート、避難のタイ ミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを 高める

レベル5特別警報 命の危険！直ちに安全確保

何らかの災害がすでに発生している可能性が高く、命が危険な状態です。指定された避難場所への避難が危険な場合には、少しでも崖や河川から離れた建物や、浸水しにくい高い場所に移動するなど、命を守る行動をとりましょう。

レベル4危険警報 危険な場所から全員避難

土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などからは離れ、安全な建物の上階や近くの避難所など安全な場所に避難しましょう。

レベル3警報 高齢者などは危険な場所から避難

高齢者や子ども、体の不自由な方など、避難に時間のかかる方は避難しましょう。その他の方も避難の準備をしていつでも動けるようにしましょう。

レベル2注意報 自分の避難行動を確認

最新の気象情報を確認し、ハザードマップなどで避難場所やルートなどを確認してください。非常用持出品を、玄関などのすぐわかる場所に置いておきましょう。

レベル1早期注意情報 災害への心構えを高める

今後の気象情報に注意し、家のまわりの点検や補強、備蓄品の確認をしておきましょう。

夏から秋にかけては、大雨や台風の影響で、住宅の浸水や土砂災害が発生する危険性が高まります。自然災害の発生は避けられませんが、自助・共助・公助それぞれが連携することで災害の被害を最小限に減らすことができます。

大きな災害が発生すると、役場などからの支援には時間がかかる場合があります。そのため、被害をできるだけ少なくするために、自分の命は自分で守る「自助」と、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」がとても重要となってきます。

また、消防団や自主防災組織の活動に積極的に参加するなど、自助、共助による災害対応力を高めることが、災害に強い地域づくりにつながります。

図環境防災課防災班 ☎(84)1216